

ぼうさい通信「まもる」

文責：防災主任
橋本道明
令和4年10月13日

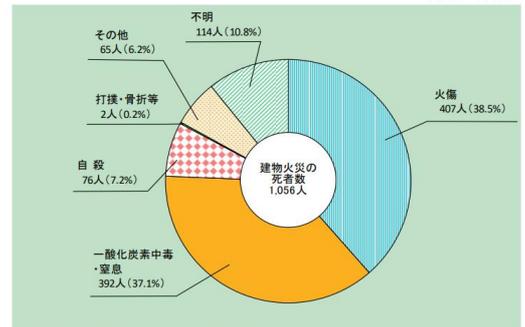
火災で最も危険なこと

本日は火災時の避難訓練を行いました。今回の避難訓練では火災時に閉鎖される防火扉や防火シャッターについて教員間で事前に確認をし、それぞれの教室からの避難をより実践的に実施できるようにしました。

総務省から出ている消防白書によると、火災での死亡原因は火傷が最も多く、次いでそれとほぼ同じくらいの割合で一酸化炭素中毒・窒息が続きます。一酸化炭素中毒・窒息は体に火傷がない状態を示します。実は火傷の数には一酸化炭素中毒で体が動けなくなった後の火傷も多く含まれています。つまり、火災で最も危険なのは一酸化炭素を含む「煙」です。

第1-1-8図 建物火災の死因別死者発生状況

(令和2年中)



(備考)「火災報告」により作成

火災の時、「煙」から身を守る

火災の際に「煙」から身を守るための方法をいくつか確認します。

① 上階には逃げないこと

煙は水平方向より垂直方向に動くスピードが非常に速く、秒速3～5mと歩くスピードより速くなります。煙が充満している時に上階に避難すると、煙とともに上っていくのでかなり危険になります。煙が充満して、身動きできない場合は姿勢を低くして、助けを待ちましょう。



② 避難訓練を思い出して低い姿勢で行動すること

煙は高いところに上ります。室内の低いところや階段のステップのきれいな空気を吸いましょう。

③ ハンカチやタオルなどで口・鼻をしっかりと覆い、浅く呼吸すること

息は止めずに少しずつ浅めの呼吸をしながら避難しましょう。また、避難時はタオル、服等で口と鼻を覆いましょう。息を止めて途中で我慢できなくなると、一呼吸で多量の空気（煙）を吸い込んで倒れてしまうことがあります。

④ 歩いて逃げること

走ったり、パニックを起こして暴れたりすると煙が混ざってしまい、視界が悪くなり、身動きが取れない状況になります。床も見えづらくなり、歩行が困難になり、動けなくなります。視界を確保するために、歩いてにげましょう。

火災避難の資料



京都市消防局
火災から命を守る避難の指針
～動画・パンフレット～